
Bye Bye

桜井緋美乙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Bye Bye

【Nコード】

N7061E

【作者名】

桜井緋美乙

【あらすじ】

誰にでも、忘れられない恋ってありますよね。これは、ある時のモヤモヤした気持ち。あなたも少しは共感できるかも・・・。

（前書き）

はじめまして。 k i t t y ・ K a t t です ほんの短い詩です
が多くの方に共感していただければなあ．．．と思います。

あれから君はどれくらい変わったんだろっ。

時に強引で、

時に優しい笑顔を見せてくれた君。

あれから私はどれくらい変わったんだろっ。

いつもワガママで

困らせてばかりだった私。

流れていく涙が君を遠くする

流れていく月日が私だけを置き去りにする。

少し嘘が上手くなった。

少し強がりになった。

心の叫び声は

どんどん大きくなるばかり。

忘れたいんじゃない。
忘れられないわけでもない。

ただ少し、この切なさが
心地いい。

会いたい。

会いたくない。

1人が寂しいわけじゃない。
ただ、1人でいたいだけ。

君を恋しいんじゃない。
君に恋した自分が恋しいだけ。

そう言い聞かせて、 1人きりの部屋の片隅で

この部屋を満たす音楽に耳を傾ける。

目を閉じると、

今はもう消えてしまった君の香りが

体に纏わりつくようで

虚しい。

大きく開け放った窓から

当分上がりそうにない雨を眺め、

雨雲のずっとずっと先に見える眩しい光を夢見ながら

今はただ

この穏やかなメロディーに思いをのせて

そっと口ずさむ。

閉じ込めていた君との思い出と

強がりな自分と

そして、

もう届くことのない君への思いに

『
B
y
e

B
y
e
』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7061e/>

Bye Bye

2010年10月12日13時21分発行